

Q10 入居してからの注意点はありますか

新しい家具やカーテンなどを購入する場合は注意が必要です。

家具の下地材にも合板やパーティクルボードなどが使用されています。またカーテンやじゅうたんなどにもホルムアルデヒドやVOCを含んでいるものがあります。入居してから持ち込んだ家具等の影響で化学物質の室内空気濃度が高くなってしまふ恐れもあります。

新築時に新しい家具等を購入する機会が多いと思いますが、その場合でもホルムアルデヒド等の放散量の少ない材料を使用したものを選びましょう。

入居後数ヶ月は通風・換気を十分に行いましょう。

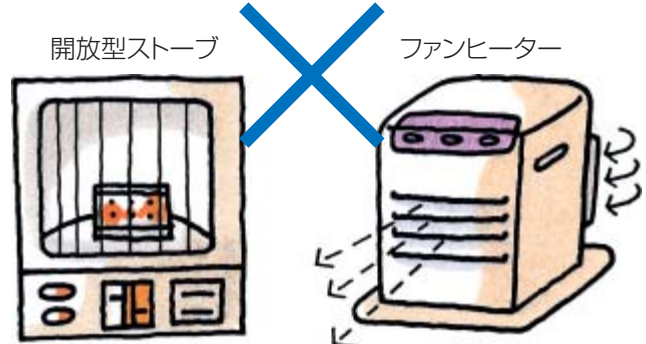
新築当初は建材などからの化学物質の放散が多いので、入居から数ヶ月はこまめに窓を開けるなど、通風・換気を十分に行ってください。

寒い時期でいつも窓を開けておけない時には浴室や、便所、台所の換気扇を稼働させることでも効果があります。

システムキッチン、押し入れ、造作家具などの扉や引出しなども窓を開放していたり換気が十分な時にはなるべく開放しておいた方がいいでしょう。

また、24時間稼働の換気設備等がある場合はスイッチを切らずに必ず常時運転を行ってください。

特に燃焼ガスを室内に放出する開放型のストーブは結露や二酸化炭素の問題もあり、使用しないようにしましょう。



日常生活での工夫も大切です。

家具やカーテン以外にも日常生活で使用する多くのものに化学物質が含まれている可能性があります。①クリーナーや床用ワックスなどの家庭用洗剤、②シャンプー・香水などの化粧品・芳香剤、③塗料・スプレー、④殺虫剤・防虫剤・防ダニ剤、⑤たばこの煙、⑥ストーブなどの燃焼器具、⑦趣味用品や自動車用品などです。

これらを使用する場合は過度の使用量を避ける、換気の十分とれる場所で使用するなどの工夫が必要です。

生活用品に含まれる化学物質

